



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東
 コード番号 2124 URL <http://corp.jac-recruitment.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	11,043	42.0	2,655	0.4	2,677	1.2	1,885	0.5
29年12月期第2四半期	7,778	16.0	2,644	11.4	2,646	11.4	1,876	19.2

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 1,931百万円(2.9%) 29年12月期第2四半期 1,876百万円(19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	46.45	46.39
29年12月期第2四半期	46.41	46.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	15,592	11,925	76.1
29年12月期	15,143	11,889	78.2

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 11,864百万円 29年12月期 11,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,757	41.8	5,495	3.5	5,511	3.6	3,881	5.3	95.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) JAC Personnel Recruitment Ltd 除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	41,292,000株	29年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	628,619株	29年12月期	802,843株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	40,583,852株	29年12月期2Q	40,424,210株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成30年8月23日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済において、企業の求人意欲は依然高く、5月の有効求人倍率は1.60倍という44年ぶりの高水準となりました。

こうした環境の下、当社グループの中核事業である国内人材紹介事業は、中高額帯と専門職をターゲットとした取り組みの継続により、売上高、利益とも期初の予想に沿った進捗となりました。

当年度の同事業は、「Grow and Expand in a fast changing world(テクノロジー革新の中での成長と拡大)」をテーマとして、引き続きコンサルタント個人の「成長」と組織の「拡大」をしっかりと意識した経営を推し進めております。特に当第2四半期連結累計期間においては、今後の組織拡大を視野に、利益額を前年同期並みの水準に抑えて大型の投資を実施し、社員採用、登録者の確保、新基幹情報システムの開発等の各方面において、コンサルタント1,000人体制に向けた抜本的な事業基盤の整備を推進してまいりました。

その結果、コンサルタントの増員につきましては、期初計画を上回る展開となり、今後の事業拡大に着実な手応えを得ることができました。当年度の後半に向けては、増加した新人コンサルタントの早期戦力化に重点を置いた教育・研修を充実させ、同事業全体の生産性向上に努めてまいります。また、登録者の確保に関しましても、自社ウェブサイトを用いて独自に募った登録数を、前年同期比で5割以上増加させることができました。

3月に全株式を取得したJAC Recruitment Asia Ltd(本社：シンガポール、以下「JRA」といいます。)を中心とする海外事業につきましては、当社代表取締役副社長兼管理本部長を新たに海外事業本部長として、利益率の向上を最優先に事業の再構築に取り組んでおります。一方で、当社グループの大きな特徴である外資系企業、日系企業のグローバル分野へのサポートを国内外で同時に展開できる新体制の優位性を最大限に活用することで、さらなる事業拡大を目指してまいります。

株式会社シー・シー・コンサルティングが展開している国内求人広告事業につきましては、7月に専任の代表取締役社長を選定して営業体制の安定強化を図っており、事業の再成長に向けた取り組みを始めております。

一方で、経費につきましては予算内で推移しており、当年度におきましても安定した財務基盤を形成して、さらなる株主還元を可能とする態勢を整えてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,043百万円(前年同期比42.0%増)となりました。セグメント別売上高は、国内人材紹介事業が8,797百万円(同15.5%増)、国内求人広告事業が152百万円(同6.5%減)、海外事業が2,093百万円となっております。

利益面では、営業利益は2,655百万円(前年同期比0.4%増)、経常利益は2,677百万円(同1.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,885百万円(同0.5%増)となりました。セグメント別損益は、国内人材紹介事業が2,580百万円(同2.9%減)、国内求人広告事業が△16百万円(前年同期は△9百万円)、海外事業が114百万円となっております。

なお、第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。このため、JRAを含む「海外事業」の前年同期比については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
国内人材紹介事業	8,797	115.5
国内求人広告事業	152	93.5
海外事業	2,093	—
合計	11,043	142.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 3. 第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。このため、JRAを含む「海外事業」の前年同期比については記載しておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 国内人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	3,477	120.7
消費財・サービス業界	2,155	107.8
メディカル・医療業界	1,353	108.9
I T・通信業界	986	110.2
金融業界	804	135.0
その他	20	1,351.6
国内人材紹介事業 計	8,797	115.5
2. 国内求人広告事業		
国内求人広告事業 計	152	93.5
3. 海外事業		
海外事業 計	2,093	—
合計	11,043	142.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 3. 第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。このため、JRAを含む「海外事業」の前年同期比については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金2,611百万円減少、のれん2,118百万円増加、売掛金527百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて448百万円増加の15,592百万円となりました。

負債につきましては、未払費用453百万円増加、未払金73百万円減少、未払消費税等66百万円減少等により、前連結会計年度末に比べて411百万円増加の3,666百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益1,885百万円、剰余金の配当2,064百万円、自己株式の減少152百万円等により、前連結会計年度末に比べ36百万円増加の11,925百万円となり、自己資本比率は76.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年5月10日開示の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,269	6,658
売掛金	926	1,453
電子記録債権	—	19
貯蔵品	1	3
前払費用	134	224
繰延税金資産	462	480
その他	25	87
貸倒引当金	△2	△9
流動資産合計	10,816	8,918
固定資産		
有形固定資産		
建物	290	345
減価償却累計額	△143	△192
建物(純額)	146	153
機械及び装置	9	27
減価償却累計額	△3	△6
機械及び装置(純額)	5	20
車両運搬具	—	5
減価償却累計額	—	△4
車両運搬具(純額)	—	0
工具、器具及び備品	208	426
減価償却累計額	△153	△349
工具、器具及び備品(純額)	54	76
リース資産	6	6
減価償却累計額	△2	△3
リース資産(純額)	3	2
建設仮勘定	19	—
有形固定資産合計	229	253
無形固定資産		
のれん	23	2,141
商標権	0	0
ソフトウェア	55	81
ソフトウェア仮勘定	304	408
無形固定資産合計	384	2,631
投資その他の資産		
投資有価証券	2,905	2,904
出資金	0	0
敷金及び保証金	725	786
破産更生債権等	3	3
繰延税金資産	83	97
長期未収入金	11	11
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	3,713	3,789
固定資産合計	4,326	6,673
資産合計	15,143	15,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
リース債務	1	1
未払金	393	319
未払費用	1,245	1,699
未払法人税等	875	918
未払消費税等	358	292
預り金	132	191
前受収益	55	92
役員賞与引当金	—	5
株式給付引当金	153	94
解約調整引当金	35	49
流動負債合計	3,252	3,664
固定負債		
リース債務	2	1
固定負債合計	2	1
負債合計	3,254	3,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	1,569	1,569
利益剰余金	10,358	10,178
自己株式	△702	△549
株主資本合計	11,845	11,818
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	46
その他の包括利益累計額合計	—	46
新株予約権	43	61
純資産合計	11,889	11,925
負債純資産合計	15,143	15,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	7,778	11,043
売上原価	373	1,101
売上総利益	7,404	9,941
販売費及び一般管理費		
役員報酬	179	281
給料及び手当	2,700	3,998
法定福利費	390	534
株式報酬費用	17	17
退職給付費用	69	88
賞与引当金繰入額	20	—
役員賞与引当金繰入額	2	5
株式給付引当金繰入額	77	93
貸倒引当金繰入額	7	0
地代家賃	347	469
減価償却費	38	74
のれん償却額	7	94
広告宣伝費	295	550
その他	607	1,077
販売費及び一般管理費合計	4,760	7,286
営業利益	2,644	2,655
営業外収益		
受取利息	0	9
為替差益	0	6
設備賃貸料	1	1
その他	0	5
営業外収益合計	2	23
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒損失	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	2,646	2,677
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,646	2,677
法人税、住民税及び事業税	739	811
法人税等調整額	30	△19
法人税等合計	770	792
四半期純利益	1,876	1,885
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,876	1,885

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,876	1,885
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	46
その他の包括利益合計	—	46
四半期包括利益	1,876	1,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,876	1,931
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,615	163	—	7,778	—	7,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7	—	7	△7	—
計	7,615	170	—	7,785	△7	7,778
セグメント利益又は損失(△)	2,656	△9	—	2,646	—	2,646

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 国内求人広告事業の報告セグメントには、のれん償却額7百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,797	152	2,093	11,043	—	11,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	7	1	19	△19	—
計	8,807	160	2,095	11,063	△19	11,043
セグメント利益又は損失(△)	2,580	△16	114	2,677	—	2,677

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額1百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額92百万円が、含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間におけるJRAの連結子会社化に伴い、セグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「東京本社」、「北関東支店」、「横浜支店」、「名古屋支店」、「静岡支店」、「大阪支店」、「京都支店」、「神戸支店」、「中国支店」、「JAC International」、「シー・シー・コンサルティング」の11区分から、「国内人材紹介事業」、「国内求人広告事業」、「海外事業」の3区分へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法等により作成したものを記載しております。